

戦略経営演習Ⅰ〔経営学〕		2
戦略経営演習Ⅱ〔経営学〕		2
戦略経営演習Ⅲ〔経営学〕		2
戦略経営演習Ⅳ〔経営学〕		2
戦略経営演習Ⅰ〔マーケティング〕		2
戦略経営演習Ⅱ〔マーケティング〕		2
戦略経営演習Ⅲ〔マーケティング〕		2
戦略経営演習Ⅳ〔マーケティング〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅰ〔会計学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅱ〔会計学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅲ〔会計学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅳ〔会計学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅰ〔情報システム学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅱ〔情報システム学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅲ〔情報システム学〕		2
ビジネスコントロール演習Ⅳ〔情報システム学〕		2
専門発展科目		
国際経営研究〔中国ビジネス事情〕		2
国際経営研究〔韓国ビジネス事情〕		2
経営実務特論〔会社経営の実務〕		2
経営実務特論〔法人税等の実務〕		2
経営実務特論〔税務の機能と実務〕		2
経営実務特論〔企業セキュリティーの実務〕		2
企業家特論〔経営者セミナー〕		2

5 社会福祉学研究科

(1) 修士課程

応用力・指導力・実践力を兼ね備えた広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 社会福祉学専攻

社会福祉学のより新しく高度な知識や理論、技術を修得し、その高度な教育成果と研究成果の還元を通して、広く社会福祉に貢献できる研究者や専門的実践者を養成することを目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
基礎領域群			修了要件 基礎領域群から4単位、ゼミナール群から教育福祉研究ゼミナールあるいは社会福祉研究ゼミナール8単位を必修とし、基礎領域群、社会福祉領域群、教育福祉領域群から18単位以上の計30単位以上を修得したうえ、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
仏教社会福祉特論	2		
社会福祉特論		2	
教育福祉特論		2	
社会福祉・教育福祉の研究法	2		
社会福祉領域群			
地域福祉特論		2	
社会保障特論		2	
子ども家庭福祉特論		2	
高齢者福祉特論		2	
障害者福祉特論		2	
ソーシャルワーク特論		2	
福祉社会学特論		2	
権利擁護・司法福祉特論		2	
非営利組織特論		2	
精神保健福祉特論		2	
子ども支援特論		2	
社会的養護特論		2	
教育福祉領域群			
セクシュアリティ特論		2	
特別支援教育特論		2	
生命倫理特論		2	

発達心理学特論		2
教育学特論		2
教育相談特論		2
健康教育特論		2
音楽教育特論		2
造形教育特論		2
ゼミナール群		
社会福祉研究ゼミナールⅠ		2
社会福祉研究ゼミナールⅡ		2
社会福祉研究ゼミナールⅢ		2
社会福祉研究ゼミナールⅣ		2
教育福祉研究ゼミナールⅠ		2
教育福祉研究ゼミナールⅡ		2
教育福祉研究ゼミナールⅢ		2
教育福祉研究ゼミナールⅣ		2

(2) 博士後期課程

福祉学を高度に応用し他の専門領域と共働して指導的立場に立てる広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 社会福祉学専攻

授業科目	必修	選択	備考
研究指導			修了要件 指導教授について毎週1回以上、3年間にわたり研究指導を受けること。選択必修科目から12単位以上を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
選択必修科目			
社会福祉特殊講義Ⅰ		2	
社会福祉特殊講義Ⅱ		2	
社会福祉特殊講義Ⅲ		2	
社会福祉特殊講義Ⅳ		2	
社会福祉特殊講義Ⅴ		2	
教育福祉特殊講義Ⅰ		2	

教育福祉特殊講義Ⅱ		2
教育福祉特殊講義Ⅲ		2
教育福祉特殊講義Ⅳ		2
教育福祉特殊講義Ⅴ		2

## 6 地球環境科学研究科

### (1) 修士課程

地球環境科学研究科は、地球環境問題の解決に貢献できる有為な人材を育成する地球環境科学部の基本理念と共通の基盤に立ち、地球環境科学の発展と地球環境問題の解決に取り組むことのできる高度な学識を有する人材を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。この目的に向かって、環境システム学専攻では地圏科学・水圏科学・気圏科学・生物圏科学・情報科学等の、また地理空間システム学専攻では地理学・地域研究・地理情報科学等の、いずれも高度な知見・手法を修得し活用する。

#### ① 環境システム学専攻

授業科目	必修	選択	備考
I 研究科共通科目群			修了要件
地球環境科学総論	2		研究科共通科目群の2科目4単位必修、基幹科目群のうち生物圏・地圏研究科目類、気圏・水圏研究科目類、環境情報研究科目類からそれぞれ1科目2単位以上と、いずれかの研究科目群から2科目4単位以上の計5科目10単位以上選択必修、総合科目群から2科目4単位以上選択必修、地理空間システム学専攻の総合研究科目群から2科目4単位以内選択、総合演習2科目2単位必修、その他の演習から4科目8単位以上選択必修、実験・実習1科目2単位選択必修、研究2科目4単位選択必修、合計34単位以上を取得し、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
地理空間システム学総論	2		
II 環境システム学専攻科目			
A 基幹科目群			
1 生物圏・地圏研究科目類			
陸域生物環境学特論		2	
水域生物環境学特論		2	
野生動物管理特論		2	
地圏環境学特論		2	
地球惑星物質循環特論		2	
土地環境管理特論		2	
2 気圏・水圏研究科目類			
気圏環境学特論		2	
熱収支水収支特論		2	
地球流体環境学特論		2	